

「創立 20 周年記念事業」



安原工業団地協同組合

理事長 米 沢 卓 也

平成 28 年 1 月 25 日に、安原工業団地協同組合は創立 20 周年を迎え、2 月 19 日(金)にはご来賓の方々や多くの組合員の皆様にご参加いただき記念講演会並びに記念祝賀会を開催できました。創立時 196 社であった組合員数は、20 年を経過した現在 190 社であり、多くの組合が組合員の減少傾向に悩んでいるなか、この数を維持しているのは、組合員の皆様の堅実な経営手腕はもとより、車の両輪とたとえられる工業団地町会の存在とともに地元安原地区の環境の良さ、また日頃よりご指導いただいている金沢市ものづくり産業支援課様や石川県中小企業団体中央会様、並びに連携させていただいている市工業団地連絡協議会の加盟団体の皆様の絶大なご支援によるものと深く感謝いたします。

また、組合設立にご尽力いただいた初代理事長安嶋勇様をはじめとする皆様のご労苦に改めて敬意を表したいと思います。

このたびの記念事業としては、昨年 12 月 6 日(日)に『歌舞伎映画鑑賞と街なかランチ』を開催し、金沢シネモンドとしいのき迎賓館を会場に 70 名の皆様にご出席いただきました。ご夫婦連れや親子連れで、また社員の方と一緒に休日の一日を映画「野田版 研辰の討たれ」とカフェ & ブラッスリー ポール・ボキューズの料理で十分に楽しんでいただけたと思います。

記念講演会及び記念祝賀会には 90 名の方々の参加の中、記念講演会では飯山暁朗先生に『元気な中小企業の人づくり～会社が変わる関わり方の法則～』と題し御講演をいただき、引き続き記念祝賀会では山野之義金沢市長様、山出保石川県中小企業団体中央会会長様、下沢佳充石川県議会議員様からご祝辞をいただきました。工業団地造成計画時から 40 年来、ご指導ご鞭撻を賜った安原地区町会連合会常任顧問井沢義武様の乾杯のご発声で祝宴が開かれました。会場は終始和やかな雰囲気、青年部製作のスライド上映では懐かしい写真が多数披露されました。ご来賓の皆様から、「安原工業団地の皆さんは本当に仲がいいですね」とのお言葉も賜り成功裏に終わることができました。

残る記念事業としては、10 周年の際よりコンパクトですが、記念誌の発刊を企画しており、各組合員様あてに 3 月末に配布の予定をしています。

これまでの 20 年間、中小零細企業には決して順風が吹き続けたわけではなく、今後も厳しい景況下が続く気配ですが、同じ安原の地に生計の場を求めて操業する仲間同志が、相互扶助の精神を大切にしながら、地域への社会貢献、経済振興に繋げられるよう組合活動をますます充実強化していかねばならないと思います。そのためにも組合員の皆様からご意見を頂戴し、役員及び事務局が一層の研鑽に努めてまいりたいと存じますので、今後ともご支援とご協力をお願い致します。

安原工業団地協同組合会報

YASUHARA INDUSTRIAL PARK
COOPERATIVE SOCIETY
NEWSLETTER
NO. 20

平成 28 年 3 月 1 日発行

2016.3
第20号

発行 安原工業団地協同組合
〒920-0377
金沢市打木町東1400番地
(金沢市異業種研修会館内)
TEL (076) 240-1411
FAX (076) 240-1903

加賀万歳で祝った平成28年新年会



平成28年1月6日(水)、安原工業団地と町会の合同新年会が、金沢都ホテルで64名の参加で開催されました。

米澤卓也理事長と金谷尚次町会長の挨拶の後、来賓の方々の紹介があり、山野之義金沢市長、下沢佳充石川県議会議員からご祝辞を賜り、西川昇安原地区町会連合会長の乾杯のご発声で宴に移りました。

今年のアトラクションは加賀万歳で、愛好会の玉川健二さんをリーダーとする4名のグループが、「式三番叟(しきさんばそう)」、「北國下道中(ほっこくしもどうちゅう)」を熱演され、最後に台詞に金沢の旧町名を入れた「金沢町尽し」が演じられました。

年初におめでたい伝統芸能を楽しみました。

例年のように穏やかに時は流れ、山岸信孝次期町会長の中締めでお開きとなりました。

2月19日(金)には、組合の20周年記念講演、記念祝賀会がホテル日航金沢で催されることなどの話題もあり、組合・町会にとっては良い一年のはじまりになりました。



企業経営動向に関するアンケート調査報告

～景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。～

今年度も恒例の組合員各社の経営動向調査のアンケート結果が集計されました。

調査企業は全組合員190社のうち102社(53.6%)から回答がありました。調査結果の概要は下記のとおりです。

前年度調査と比較して、「売上高」「採算性好転」「販売価格上昇」が昨年度よりポイントを落としており、「操業度」及び「受注残」には大きな落ち込みがないようで、利益は薄い仕事はあるという実態が窺えます。「仕入価格上昇・下落」のポイントから、仕事やしやすくなってきているようで、今後「資金繰り」、

「受注見通し」の改善に結びつくことを期待したいところです。

また、政府の1月発表の月例経済報告によると、先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。

ただし、アメリカの金融政策の正常化が進むなか、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。こうしたなかで、金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるという結果でした。

文化講演会 ～「悲惨な戦争！平和の尊マ」

平成27年11月9日(月)、金沢市異業種研修会館で、ことしも安原地区から多くの方々の参加を含め、合せて74名での文化講演会を開催しました。

平成27年は太平洋戦争終戦から70年目であり、今日の平和に感謝するためにも戦争の悲惨さを知ることを講演会のテーマに掲げました。

講師は、いしかわ生涯学習講師の会に所属され、旧海軍特年兵として駆逐艦「楓」に搭乗し、終戦時は海防艦乗務の経歴を有する細川尚氏で、現代では戦中体験を語れる数少ない講師のひとりです。

講演では、国が戦争に突入していく時代に自身が生まれた悲運なめぐりあわせで、不条理な軍隊教育を受けざるを得なかったことから始まり、かけがえのない有能な若者が多く戦地へ駆り出され、捕虜になることは不名誉なこととしてそのほとんどが戦死されたこと。また、カムラン湾沖の洋上激戦体験におけるアメリカ戦闘機や連合軍潜水艦の容赦のない攻撃への恐怖、僚艦の撃沈間際に助けを求める兵士を目前にしながら、

自艦「楓」が中破したため救助を放棄して直ちに戦線離脱しなければならぬ申し訳なさ等戦禍の惨状を話され、皆で聞き入りました。

海防艦勤務で、南方や大陸から内地へ戻る帰還兵及び婦女子の命あることを喜びにする姿に接し、復興期は大変であったが自身も頂いた命を大切に生き抜き、現在の日本の平和を享受している。悲惨な戦争は絶対に避けなければならぬと語られた後、戦時中を偲ぶ曲をハーモニカ演奏して、締めくくられました。



第3回若者の交流会 (BBQパーティ)

10月25日(日)内灘町総合公園 サイクリングターミナルにおいて第3回若者の交流会(BBQパーティ)が行われました。大人24名、小学生以下の子供8名の参加があり、企業の若手社員の集まりや、家族連れなどでバーベキューを楽しみました。晩秋の素晴らしい青空のもと、さわやかな海風が心地よいBBQパーティとなり、参加者みんながお腹一杯満足しているようでした。恒例になったビンゴゲームでは景品早いもの取りのルールで大いに盛り上がりましたが、最終的には参加者全員に景品が行きわたり、たくさん笑顔があふれるうちに解散となりました。



中学生職場体験!! 「わくワーク体験」

毎年恒例の中学生職場体験「わく・ワーク」が11月10日～12日の3日間の日程で始まりました。

当工業団地でも地元の緑中学校からの依頼で団地内の企業8社が協力して行われ、今年度は(株)ヒガシヤマを取材しました。緑中学校2年生4名が、初めての体験に緊張しながらも熱心に取組んでいました。

最新のマシンでNC旋盤、平面研削盤などの機械の管理など、あまり人の手を必要としないのが現状でした。

生徒達に話を聞くと、「立ちっぱなしが少し疲れます」や「ものづくりに興味があったので体験場所をここに決めました」などの声が聞かれました。

この体験を通して、額に汗して働くことの意味がわかり、自分の将来に役立ったのではないのでしょうか？

受け入れて頂いた企業の方々、ご協力ありがとうございました。

ご協力いただいた企業

暁化学工業(株)

(株)コシノ

(株)日海 ダスキン石川工場

(株)ヒガシヤマ

(株)イコマ・メカニカル

田中昭文堂印刷(株)

ハイテクス工業(株)

ミナミ金属(株)

金沢市工業団地連絡協議会 安原工業団地協同組合 合同視察研修

恒例の平成27年度合同視察研修旅行は、「北近畿ものづくりスポットで最新テクノロジーを学ぶ旅」と銘打ち、10月16日(金)・17日(土)の2日間、京都府舞鶴市と、同じく綾部市にある企業各1社を視察してきました。

当組合からは、米澤理事長をはじめ5名(全26名)が参加しました。

1日目は、まず舞鶴市の(株)エナミ精機を見学しました。この会社は独特のカシメ技術を用いたツールや機械の開発により様々な精密プレス金型、鍛圧装置を製造している企業で、製品の8割を輸出しているそうです。



その後、綾部市の(株)堀内機械 京都工場に伺いました。この会社は、油圧特殊シリンダーの多品種小ロット生産メーカーで、京都(綾部)工場は同社のノウハウを集積した最先端の工場で、特に若い人が目立っていたのが印象的でした。両社とも過去に経産省『元気なモノ作り中小企業300社』に選出されています。

2日目は、京丹後の造り酒屋「ハクレイ酒造」を見学し、天橋立・笠松公園等見学・昼食の後、「海上自衛隊舞鶴基地北吸棧橋」にて護衛艦や赤レンガ街などを見学し、帰路に着きました。天候にも恵まれ楽しく有意義な2日間でした。



訃報 事務局の東渡さん逝去

平成17年12月から、組合および町会事務で勤務されていた東渡智恵子さんが、平成28年1月20日(水)に急逝されました。

聡明で、いつも暖かい気配りをされるかたでした。1月5日の勤務を終え、「明日また来ます。」が最後の言葉となりました。

44歳という若すぎる死が悼まれます。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

青年部 活動報告

9月6日(日) 「ソフトボール大会」

安原小学校グラウンドにおいて安原工業団地協同組合主催、安原工業団地町会協賛にて第36回ソフトボール大会が行われ、設営、運営をさせていただきました。

企業8チーム、班1チーム、計9チームの参加にてトーナメント方式で試合が生まれ、天候が心配された中、何とか試合が実施されていましたが、最後の決勝に際しては雨が激しくなった為、メンバー9名ずつのじゃんけんによって若松梱包運輸倉庫(株)の優勝となりました。



9月21日(月・祝)

「第5回安原工業団地組合・町会合同ゴルフ大会」

GC ツインフィールズにおいて5回目のゴルフ大会及び親睦会が開催され、運営のお手伝いをさせていただきました。9組34名が参加した中、(株)佐々木塗装工業の新川真さんが優勝しました。



10月25日(日) 「第3回若者の交流会(BBQパーティ)」

内灘町総合公園 サイクリングターミナルにおいて第3回若者の交流会(BBQパーティ)を企画、運営させていただきました。大人24名、小学生以下の子供8名が参加し、ピンゴゲームなどで大いに楽しみました。

11月14日(土)、15日(日) 「東京視察旅行」

浅草地区、東京スカイツリー、靖国神社、国会議事堂、衆議院などを見学してきました。北陸新幹線を利用した旅行で、格段に利便性が良くなった東京との繋がりを実感できた視察旅行になりました。(10名参加)



12月12日(土) 「青年部忘年会」

平成27年度忘年会を「居酒屋 居乃一BAN」にて12名の出席で開催いたしました。北村部長の挨拶に続き道下幹事の乾杯にて会を進め、部員間での情報交換や親睦を図りました。

2月6日(土) 「青年部新年会」

平成27年度新年会を「牛や 榮太郎片町本店」にて14名の出席で開催いたしました。北村部長の挨拶に続き本保幹事の乾杯にて会を進め、より事業に参加してもらえる青年部活動にして行こうと結束を図りました。

平成28年3月11日(金) 「青年部主催の研修会」

一般財団法人北陸経済研究所所属の熊野和夫様をお招きし、「北陸企業をとりまく状況と今後の課題(仮)」と題した講演を予定しております。組合員皆様のご参加をお待ちしております。

これをもって今年度は無事終了となりますが、日頃からの組合員皆様のご理解、ご協力のお陰と感謝しております。来年度もよろしくお願いたします。

女性部 活動報告

《第1回研修会》

9月5日(土)、東山の茶屋街にてお茶屋体験をしました。お茶屋と言えば、男性が入り出す所だとばかり思っていました。

石川・金沢の伝統文化の一つとして根付いていたものが、近年観光化するとともに女性でも足を踏み入れられる場所になったのです。品のある素敵な三味線の音色と共に、太鼓や唄を聞かせて頂き、お茶屋さんならではの独特な太鼓遊びを体験させていただきました。



《中央会女性部活動訪問事業》

9月9日(水)、～魅せよう!元気で輝く女性力～と題して、金沢市公設花き地方卸売市場様の見学と安原工業団地内で箔一産業様の視察後、金沢市異業種研修会館にて金沢商店街連盟のおかみさん会と共にお互いの事例発表及び意見交換会を行いました。

《第2回研修会》

平成28年2月5日(金)、安原公民館にて、北國文化センター講師もお務めの仕平幹子先生を招いて参加者16名にて開催されました。

バレンタインデーも近いことから、ハートのリングと女の子のひな祭りにちなんでおひな様を作りました。一見難しそうな飾り寿司でしたが、意外と簡単に作れました。

作った後は先生を交えての試食会。先生に作って頂いたお味噌汁もいただき、和気あいあいとした雰囲気の中終了しました。

《組合事業に協力》

2月19日(金)に開催された組合創立20周年祝賀会に向けて、27年初夏より何度となく集まり、しじみ貝を利用したストラップ作りをしてきました。

創立20周年記念事業の一つとして、ささやかではありますが花を添えさせていただきました。



あとがき

今年は、安原工業団地協同組合の創立20周年の節目の年です。約200社で職種も企業規模もばらばらなのに、まとまりのある工業団地です。

「中小企業白書」によると、起業して10年で7%しか残らないといわれています。

このデータからも、安原工業団地協同組合の各企業の方々の頑張りがかかります。

今後も、次の世代や地域発展のためにも個々が努力をして、安原工業団地協同組合が存続できるように頑張りましょう。

発行責任者 米澤 卓也
編集委員 岩上 伸人、北 卓、北村 直樹、新川 基
田中 泰、塚本 裕二、野村 洋、北川 和男
山口美枝子